

会 議 録

- 1 会議名
平成26年度第8回上越市地域公共交通活性化協議会
- 2 議題
 - 1) 協議事項
議案第1号 上越市総合公共交通計画(案)について
議案第2号 真砂線・岡田線・水科線の再編(案)について
議案第3号 牧区における市町村運営有償旅客運送の運行経路等の見直し(案)について
- 3 開催日時
平成27年1月19日(月)午後1時30分から
- 4 開催場所
上越市役所 5階 第3委員会室
- 5 傍聴人の数
0人
- 6 非公開の理由
なし
- 7 出席した人(傍聴人を除く。)の氏名(敬称略)
委員： 川上宏、大谷一人、佐藤章、鳥越元一(代理：田村治)、唐澤紀雄、板垣島美子、鹿住正春(代理：岡田雅美)、早川博(代理：鈴木拓也)、常山哲(代理：歌川実)、山井一之(代理：笠松裕、オブザーバー：大桃正明(新潟県警察本部交通規制課長))、岩井文弘、横田智、宮崎朋子、白砂千佳、北嶋宏海、小口幹久
事務局： 池田課長、布施副課長、池田係長、清水主任、武藤主事(新幹線・交通政策課)

8 内容

1 開会 (事務局)

ただ今から、平成26年度第8回上越市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

本日は、お忙しい中、皆さまからお集まりいただき誠にありがとうございます。

本日は、協議事項が3件あります。

本日の委員の出欠は、お手元に配布させていただきました委員名簿にてご報告に代えさせていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

あらかじめお送りいたしました資料は「議案書」「資料1(抜粋)」「資料2-4」「資料2-5」「資料2-6」「資料3-1」「資料3-2」です。

お手元に、「資料1」「資料2-1」「資料2-2」「資料2-3」「3.14開業記念イベントのチラシ」「ニュースレター1月号」「リゾート列車愛称募集チラシ」「公共交通の啓発チラシの原案」を用意させていただきました。

よろしいでしょうか。

2 会長挨拶 (事務局)

それでは、議案書3ページの次第に従いまして会議を進行します。始めに、川上会長からご挨拶をお願いします。

(川上会長)

本日はお忙しい中、また足元の悪い中ご出席いただきましてありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

北陸新幹線、えちごトキめき鉄道の開業まで8週間を切りまして、54日となりました。工事につきましては、雪の中ではございますが、東口に乗り入れる道路等の整備を進めているところです。

また先日は、北陸新幹線長野・上越間の工事起工式の時に旧脇野田駅に植樹しましたソメイヨシノを、西口の「桜の庭」へ植え替えいたしました。

開業記念式典、また記念イベント等の準備も進めているところでございます。本日は、記念イベントのチラシも皆さまのお手元に配布させていただきましたので、後ほどご覧いただければと思います。

北陸新幹線、金沢―敦賀間の開業を3年前倒しするということが政府の方針として方向付けされたということで、開業効果が高まるものと期待をしているところです。

鉄道事業者の皆さん、バス事業者の皆さん、タクシー事業者の皆さん

ん、それぞれが円滑に開業日を迎えられるよう、一層のご準備をよろしくお願いいたします。

本日は、これまで皆さま方からご審議をいただきありがとうございました総合公共交通計画につきまして、目標に対する指標や地域ごとのカルテが残っていましたので、本日ご審議をいただき、全体ができあがるというところにさしかかってまいりました。皆さんから、忌憚のないご意見をいただき、計画をきちっと仕上げていきたいと思っております。合わせまして、三和区のバス路線の統廃合につきましても、本日ご審議をいただく予定にしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

続きまして、次第「3 協議事項」です。ここからは、会則第8条第1項の規定によりまして、川上会長から議長を務めていただきます。よろしくお願いいたします。

(川上会長)

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。

最初に出席状況でございますが、委員数20名に対しまして、代理出席を含めて16名の出席で、規約の過半数を超えておりますので、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。

3 協議事項

それでは、次第の「3 協議事項」に入ります。

(川上会長)

議案第1号「上越市総合公共交通計画（案）について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(議案書4ページ、資料1より説明)

(川上会長)

指標の目標値とカルテについては、ボリュームがありますが、一通りスケジュールも含めて説明させていただきました。これにつきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

(岩井委員)

目標値のところ、路線バス、えちごトキめき鉄道さん、ほくほく線、ほくほく線の場合は「はくたか」の部分が入っていないということでしたので、いずれも目標値が現況よりも下回るわけですね。

ところが、周遊観光バスですが、現況600から目標値を上げたということになっています。これくらいしか乗客が増えるということが見当たらない、大切にしていかなければならない事だろうと思えます。具体的にどんなところを回っているようなバスなのか、その辺のところを説明していただきたいと思えます。

また、3000という目標を立てておられますが、今度これはどういうルートで、どういうところを回ってという具体的な計画があれば教えていただければと思います。

(事務局)

観光周遊バス「ぶらっと春日山・高田号」を運行しておりました。この3月14日に再度運行する予定にしております。

直江津港、水族館、五智、春日山、高田世界館等に寄り高田駅までつながっている、という運行を昨年の11月末まで行っていました。新幹線が開業しますので、高田駅から上越妙高駅まで延伸させて、直江津港と上越妙高駅をつなぐという動かし方をすると聞いております。去年は、1日5便、2.5往復運行していましたが、3月14日からは6便、3往復運行する予定と聞いております。

(事務局)

「資料1」の80ページをご覧ください。この交通計画は、3月14日の新幹線開業以降を想定した計画になっておりますので、「ぶらっと春日山・高田号」が動いている状態での計画としています。80ページの下、図8-2の青い線のルートを回るということで、1日6便運行するという事です。昨年を振り返りますと、春と秋に運行していたので、実際の運行日数が少なかったということも一つありますが、1日の乗車人数も少なかったことに加え、動いた日数も少なく600人となりました。今回の目標としては、3月14日以降は年間で春から秋までの土日祝日、お盆、年末と1年間で86日を運行することと、1日あたりの利用者数も30人まで増やしていきたいということで計画しました。

まだ新幹線が開業していないということもありまして、利用者数が少ないですが、これからは、新幹線の開業効果も合わせして、より多くの方から利用いただいて、1日30人という目標を掲げながら、皆さんに使ってもらう為の仕組みを考えていかなければならないと考えています。このように目標を3000と設定いたしました。

(川上会長)

おっしゃりたいのは、おそらく単純にここに現況と目標値が出ていて、延べ数で出てくると600人がいきなり3000人になると捉えてしまう。今の説明を聞けば、26年度は春の何日かと秋の何日か、1日あたり何人、将来は春から秋まで、年間82日運行して1日あたり30人に上げようということで、トータル3000人になるということでしょうけど。

一般の方がご覧になられて、いきなりこういう業績となるのはいかがかと、その理由を聞かせてほしいということで、記載の仕方のご質問かなと思います。

- (事務局) 前提条件としましては、今年度は動かした日数が少なかったこともございます。そのような条件を、指標の下のところに※印を付けて、説明を付け加えたいと思います。
- (岩井委員) ありがとうございます。この地域に住んでいて、公共交通の利用客が増えることを望んでいるものですから、この目標値を見ますと、利用目標として大きく伸びるのは、この周遊観光バスくらいしかないのかなと思ったのです。
- 計算の仕方はともかく、できるだけ上越市の観光ルート、公共交通とは関係ないのかもしれませんが、見学するところ、観光の充実をはかりながら、観光客を増やしていくという努力が必要なのではないかと思っております。よろしくお願いいたします。
- (事務局) ありがとうございます。まったくその通りだと思います。
- 3月14日に開業してからも随時見直すようなかたちで、よりよい観光ルートになって、乗ったお客様に満足してもらえるように、また満足することによって利用者数が増えていくことになっていきますので、そういった視点で見直しをしていきたいと考えますので、よろしくお願いいたします。
- (白砂委員) 今の岩井委員の意見と同じようですが、この目標値は、観光以外のところ、ほくほく線は別ですが、すべて下回っています。
- ここで聞いているので分かりますが、一般の市民の方がご覧になるわけなので、人口減少にともなって、いろいろ政策をやって頑張っただけこれくらいなんですということの説明をいれていただく必要があると思います。一般の人が見ると、目標というのは普通1ミリでも上がるものと思うので、その部分の説明をお願いしたいと思います。
- (事務局) どのようにするかを内部で検討しまして記載したいと思います。
- (川上会長) そのように市民の方々に伝わるように記述をしていただきたいと思います。
- 項目の設定は、前回に確認をいただきましたでしょうか。
- (事務局) バリアフリーの項目は、新たに追加させていただきました。
- (川上会長) 今回まとめて全部みていただきますと相当なページになり、今ご覧いただいただけではご質問等がしにくい部分もあるかもしれません

が、全体を通してお気づきの点ございましたら、ご質問ご意見等いただきたいと思ひます。

(白砂委員)

利用促進の69ページの指標ですが、路線バスの切替率100%ですが、現在、更新時にはツーステップのバスが無かったりとか、現実的にも、全国的にもバリアフリー化は進んでいるというところなんです。私たちとしても、導入をお願いしているところなので、単に切替だけを見ればどこの会社も100%ではないかと思ひます。指標の捉え方なのですが、現実的、将来的に考えた時も後退することは考えにくいと思ひます。

私どもで、会社全体の車両に対するバリアフリー車両の導入率の割合を毎年見えています。そこの入れ替え、更新していく時に、会社の事情や経営状況、更新のタイミングというのがあるので、その数字が劇的に伸びるとか伸びないとかというところ。あと、雪が多いのでノンステップバスだと冬場が大変だとかいろいろな事情があつて、導入率だけをみると全国的にどうか、その数字だけをとらえると低くなってしまう可能性があります。

指標として考えた時の、どの数字を捉えていくかという時には、切替率だとずっと100%のままで、普通にやっていけばクリアできる感じがします。逆に言うとそういう数字になってしまうのかなと思ひます。

(事務局)

新車を購入するのが難しかったりするものですから、更新したいんだけどもできないということが起きてくるということがあります。そうすると更新計画を立てても達成が難しくなるのかなというのが一つあつたのと、小型バスにしても、単純に小型バスを入れるのではなくて、必ず補助ステップやリフトを付けて改造した上で、小型バスは購入するとかを考えて設定しました。

大きいものから小さいものまで、何かしらのバリアフリーを配慮した上で導入する、という目標を設定したらどうかという取組をさせていただいたところですが、それがあまり望ましくないということでしたら、見直しさせていただきたいと思ひます。

(川上会長)

白砂委員のおっしゃる通りだと思ひます。100%が当然のことかなと思ひます。事務局で考えたのは、更新計画が出しにくいことがあつたのだと思ひます。例えば、バリアフリー車両の普及率、あるいは導入率が3割のものを35%、40%に引き上げようとか、そういうものは車両の耐久年数などを考慮する中で、小型車両、中型車両は何年でと、一個一個積み上げていくのは難しいでしょうけど、トータ

ルで考えながら目標値を設定するというのも大事なかなと思います。

頸城自動車さん、その辺の考え方はいかがでしょうか。バリアフリーの車両に切り替えていくことは大事なことだと思うので、できたらそのように検討いただければありがたいと思います。

(田村様)

頸城自動車の田村でございます。

バスの車両につきまして簡単に説明したいと思います。バリアフリーの車両につきましては、バリアフリー法がございまして、平成12年に制定され、13年の4月以降バリアフリー適合車両でないと、乗合としては使用できないという法律ができました。それ以降は、バリアフリーの適合車両を導入する方向で進めております。それ以前にも、利用者が少ないのにバスが大きいのではないかなというような話もございまして、平成10年からは大型車は導入しておりませんで、中型の床の低いバス、乗り降りしやすいバスを導入するという会社の方針に取り組んでおります。

先ほど白砂委員からお話がありましたが、会社の経営上、更新が計画通り行っていないというのが実態でございまして、できるだけ乗り降りしやすいバスを導入していくという考えでおりますので、更新の際には、こちらに書いてあります、バリアフリーに配慮した車両100%で進めていく予定でございまして。

(川上会長)

バリアフリー法の適合車両でなければならぬとすると、当然バリアフリーに配慮した車両でないと更新できないということであれば、100%というのは当り前のことになってしまっていて、目標値にはなりえないと思います。その辺も含めて、普及率を出せないのだろうかと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

頸城自動車さんの今後の5年間の更新計画と合せて、数値化で目標を設定できるかどうか相談させていただきたいと思います。

(川上会長)

たとえば5年のスパンで、5%くらい入れ替え目標というか、更新時期がくるなということであれば、その部分を更新していくというか、全体の車両の台数を計画にまで入ってしまうと、なかなか難しい話になってしまうだろうから、その辺でなんとか設定できませんか。

(田村様)

上越市内の路線バスですと、頸城自動車とグループ会社がありますので、上越市の計画ですと全体をとらえた計画になるのかなと思います。私ども頸城自動車の理想的な計画としましては、年に2両程度を

更新したいと思っておりますが、昨年は中古車1両を更新するにとどまるような状況で、来年度以降につきましても、まだ決まっていないようなところもありますので、理想としては、2両ずつ更新していくというようなことで考えています。

(川上会長) それでは、各バス事業者さんと協議する中で、適正な指標になるよう検討するというところでよろしいでしょうか。

(事務局) 頸城自動車さんと協議しまして、更新率に置き換えるよう協議し差替えさせていただきたいと思っております。

(川上会長) ありがとうございます。白砂委員、よろしいですか。

(白砂委員) よろしく申し上げます。

(川上会長) 収支率30%というのは意味がありますか。

(事務局) 30%というのは、分母と分子、経費と収入との今後の見込みから改善するとどれくらいになるかというところを計算して算出しました。国でも収支率30とありますので、そういったところから30というのが一つの理由です。

30というのは低いものですが、少なくともそれを上回るかたちでの指標にしたいと思っております。

(事務局) 今のフィーダーの収支率30%というのは、収支率ではなくてデマンドの運行率です。収支率とイコールではないですけど、その数字を使わせていただきました。

(川上会長) 他にご質問、ご意見等ございませんでしょうか。
なければ、スケジュールの説明がありましたか、よろしいですか。

(事務局) 先ほどご指摘いただきました指標の説明書きや、バリアフリー車両への更新率に置き換えるというところを修正した上で、スケジュール通り進めさせていただければと考えています。

(川上会長) それでは、スケジュールも含めてということでございます。今後のスケジュール等もありますが、こんなかたちで進めさせていただきたいということでございます。

それでは、全体を通して若干の修正もあるわけですが、その他についてはよろしいでしょうか。

(川上会長) なければ、事務局からまとめをさせていただきましたが、その部分の箇所については 修正をさせていただくということで、スケジュール通り進めさせていただきたいと考えています。文言ですとか、若干の修正等については、市が実施するパブコメや委員の皆さんからご意見等を頂戴する中で、次回の活性化協議会で最終案をまとめさせていただきたいと思います。ご意見をお寄せいただくということで、本日の交通計画の協議については、今ほどの修正部分も含めて原案をお認めいただくということでよろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長) それでは、若干の文言等の修正をする中で、進めさせていただきたいと思います。

(川上会長) 続きまして、議案第2号「真砂線・岡田線・水科線の再編（案）について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局) (議案書5ページ、資料2-1から2-6により説明)

(川上会長) それでは今ほどの路線の再編案についてご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

(川上会長) 住民の皆さんへは、懇話会や地域協議会、関係区内の皆さんへ説明会、意見交換されましたが、今後の周知や方法についてはいかがでしょうか。

(事務局) 周知につきましては、3月15日号の広報と同時に回覧で三和区内に説明をさせていただきたいと考えております。また、2月13日に三和の町内会長会議があると伺っております。そこでも、このようなかたちで再度ご説明をさせていただきたいと考えております。

(川上会長) 最終的には地元の皆さんと合意し、運輸局の許可を得ながら、また住民の皆さんにきちんと周知してさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

(川上会長) 他にご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

(川上会長) なければ議案第2号については、原案のとおり了承することによろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長) ありがとうございました。
原案のとおり承認することと決しました。

(川上会長) 続きまして、議案第3号「牧区における市町村運営有償旅客運送の運行経路等の見直し(案)について」、事務局から説明をお願いします。

(議案書7ページ、資料3-1、3-2により説明)

(川上会長) それでは、ただ今の見直し案につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

(川上会長) なければ、原案のとおり進めさせていただくということによろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長) それでは原案のとおり承認することと決しました。

(川上会長) 用意いたしました議題については以上でございます。
せっかくの機会ですので、委員の皆さんから、他にお気づきの点等ございましたら、お願いいたします。

鉄道事業者さん、バス事業者さん、タクシー事業者さん、せっかくの機会ですがご発言等はよろしいですか。

(佐藤委員) えちごトキめき鉄道リゾート列車愛称名募集のチラシ同封させていただきました。先ほど指標のお話が出ましたが、私どもとしては、何とか成功させて、この指標を上回る利用増に向けて頑張っていきたいと思っております。

募集を開始してから2日ですが、すでに140名の方からネットで応募いただいているという状況でございます。社運をかけて頑張りたいと思いますので、ご声援方々よろしく申し上げます。

(川上会長) ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

(大谷委員) 北越急行の大谷です。

愛称名募集、リゾート列車、いろいろ楽しみな話題もありますが、私どもとしましては、新聞等で発表しましたが、3月14日から特急「はくたか」がなくなってしまいます。先ほど目標値にもありましたが、今まで「はくたか」をご利用いただいた方に、引き続きほくほく線をご利用いただきたいということで、超快速列車といたしまして、直江津を出ますと十日町は止まらず、越後湯沢まで1時間を数分切るような、あくまでも快速列車ですので特急料金がいない電車というのを1往復走らせることにいたしました。愛称名を募集し「スノーラビット」に決まりまして、この名前で運行する予定です。好評いただければ、また増便ということも前向きに考えていきたいと思えます。正直、特急「はくたか」が無くなり、寂しく感じますが、落ち込んでばかりいられないので、前を向いて今度はぜひ北陸新幹線を軸とした交通体系の中に、私どもも一生懸命貢献して、発展していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(川上会長) ありがとうございます。

他になれば、1点だけ確認をさせていただきたいのですが、交通計画案につきましては、議会にも今の状況を説明させていただきながら、上越市へ中間報告というようなかたちで今の案を報告し、市の方でパブリックコメントを行うスケジュールになっています。

文言等の修正もありました。この内容等につきましては、大変恐縮でございますが、会長である私に一任させていただいて、事務を進めさせていただきたいと思っております。その後、次回の活性化協議会で、皆さま方から再度ご協議をいただき、最終答申というようにさせていただきたいと思っております。文言等の修正につきましては、後ほど決まり次第皆さま方にお知らせを申し上げるということで、会長に一任でお願いできますでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長) ありがとうございます。

それでは、事務の方はそのように進めさせていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

それでは他になれば、これにて協議事項等を終了させていただき

まして、議長の任を解かせていただきます。ご協力たいへんありがとうございました。

4 その他
(事務局)

つづいて、次第「4 その他」でございます。

事務局から1点お願いがございます。

お手元にA5の大きさの公共交通の啓発チラシとして、高校生を対象としたものをたたき台ですが作らせていただきました。少子高齢化と言いつつも、高校生は毎日使っていただいております。乗ったことがないという方もいるとも聞いておりますし、新年度高校に入る生徒さんを対象に、バスのここが便利だよというのも含めてお知らせしたいと思ひまして今回作ったものです。会議の関係を含めて、お気づきの点等ございましたら、お手元に意見シートがあるかと思ひます。様式はこだわりませんので、ご意見等をいただければありがたいと思ひます。

次回の協議会につきましては、協議会の運営や総合公共交通計画などについてご審議いただくため、3月下旬を予定しております。詳しい内容は改めてご連絡させていただきます。全体を通しまして、ご質問はありますでしょうか。

5 閉会
(事務局)

以上を持ちまして、平成26年度第8回上越市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。

長時間にわたりご審議ありがとうございました。

以上

9 問合せ先

企画政策部 新幹線・交通政策課 交通政策係 TEL：025-526-5111（内線1789）

E-mail：kotsu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。